

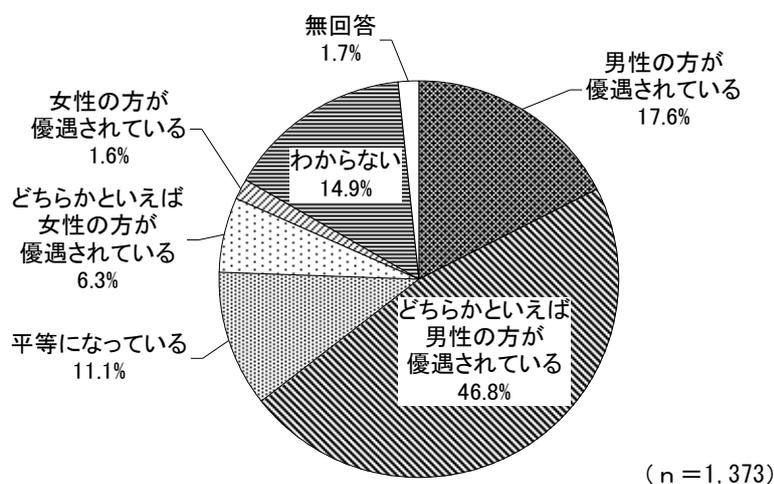
7 男女平等意識について

(1) 男女の地位の平等感

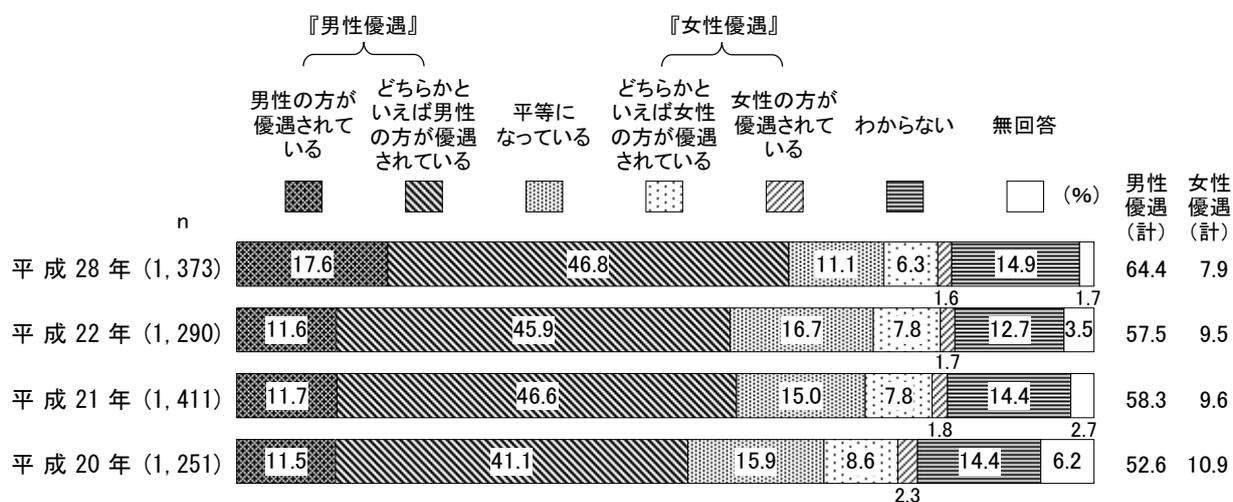
問20 あなたは、現在、社会全体の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,373]

1	男性の方が優遇されている	17.6%	4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	6.3%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	46.8%	5	女性の方が優遇されている	1.6%
3	平等になっている	11.1%	6	わからない	14.9%
				(無回答)	1.7%

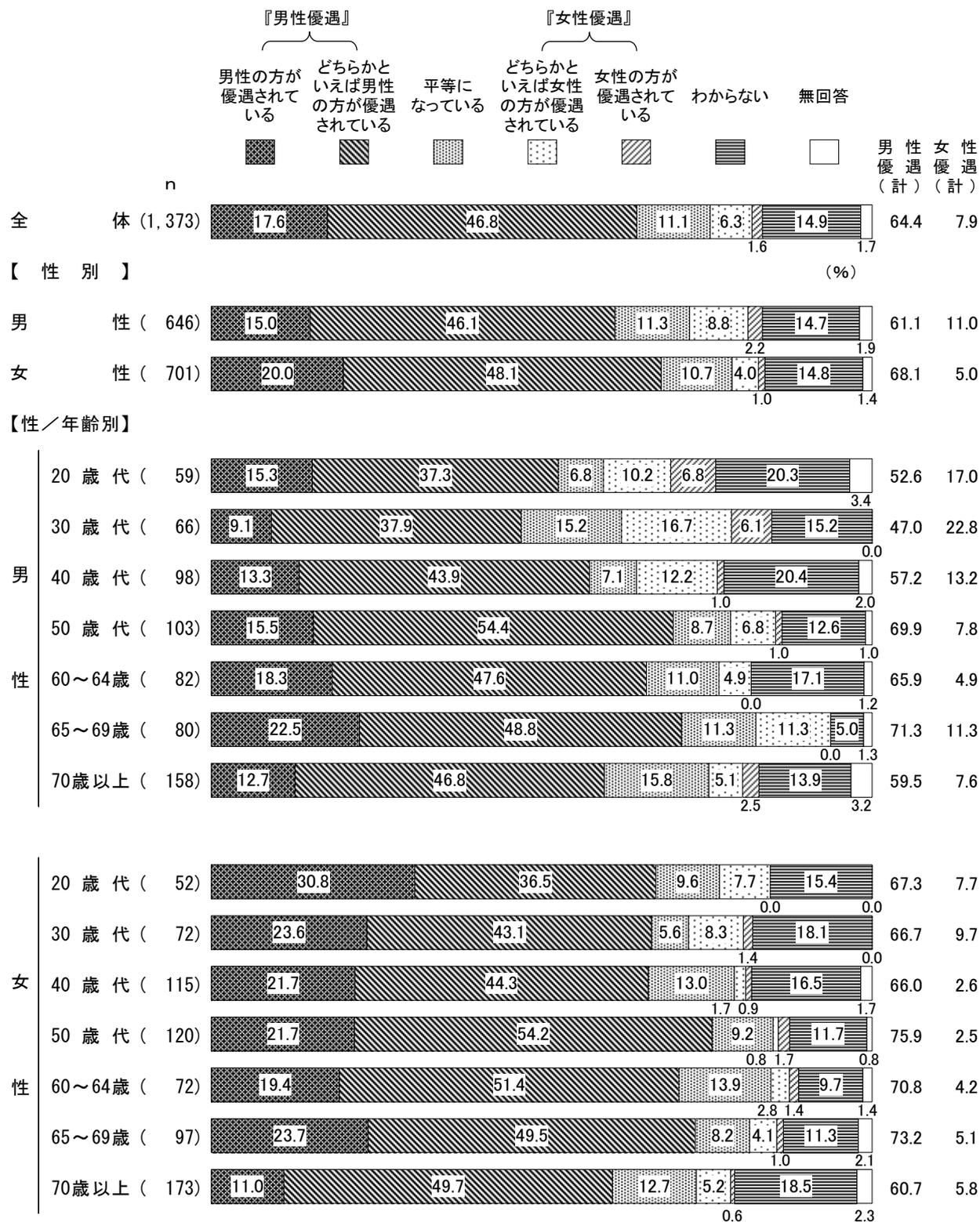


全体で見ると、「男性の方が優遇されている」(17.6%)と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(46.8%)の2つを合わせた『男性優遇』(64.4%)は6割半ばとなっている。一方、「女性の方が優遇されている」(1.6%)と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(6.3%)の2つを合わせた『女性優遇』(7.9%)は1割に満たない。



過去の調査結果と比較すると、『男性優遇』が平成22年より6.9ポイント増加している。一方、「平等になっている」が平成22年より5.6ポイント減少している。

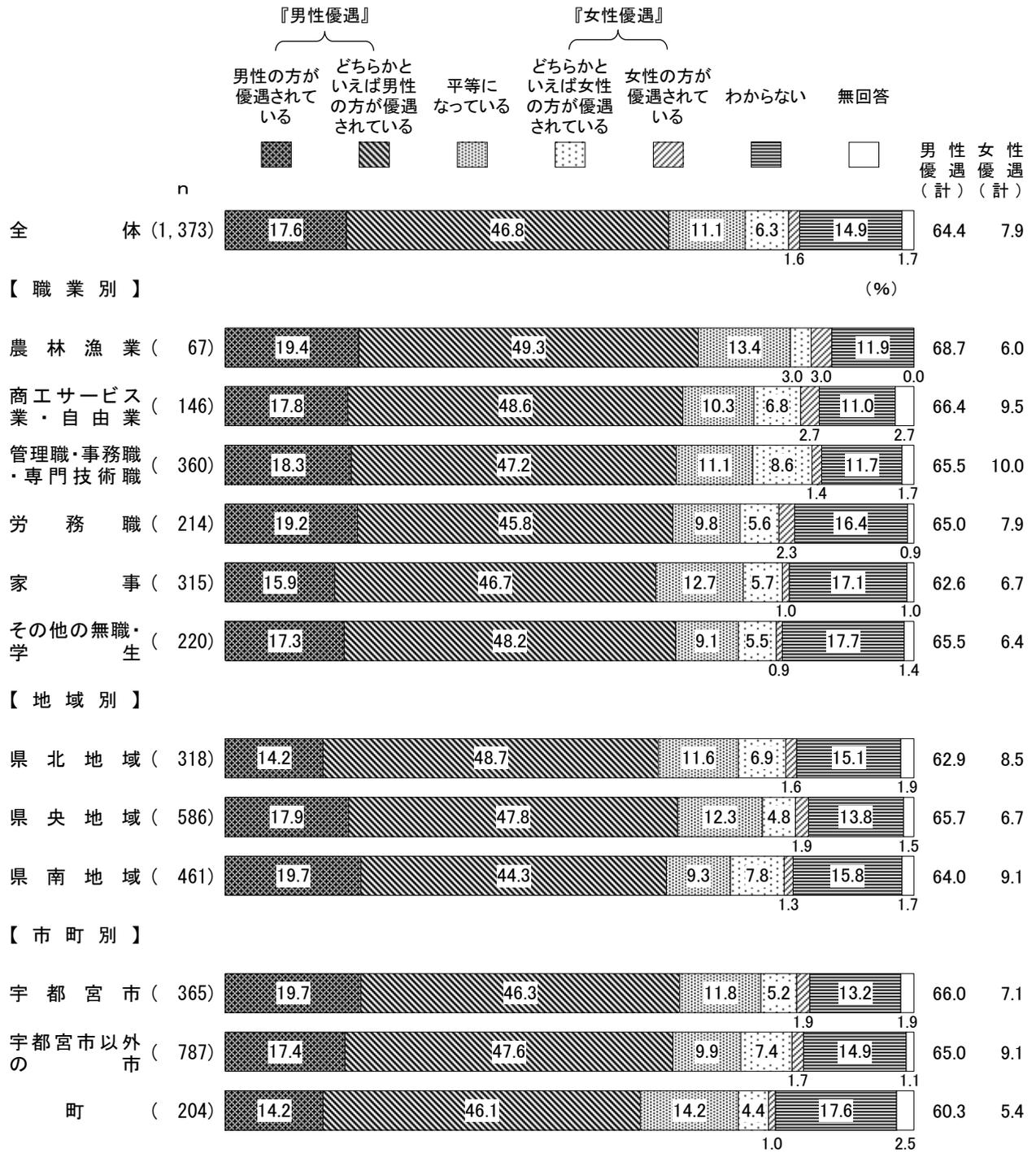
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『男性優遇』では〈女性〉(68.1%)が〈男性〉(61.1%)より7.0ポイント高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性〉(11.0%)が〈女性〉(5.0%)より6.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『男性優遇』では〈女性50歳代〉が75.9%と高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性30歳代〉が22.8%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、『男性優遇』では〈農林漁業〉が68.7%と高くなっている。

地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

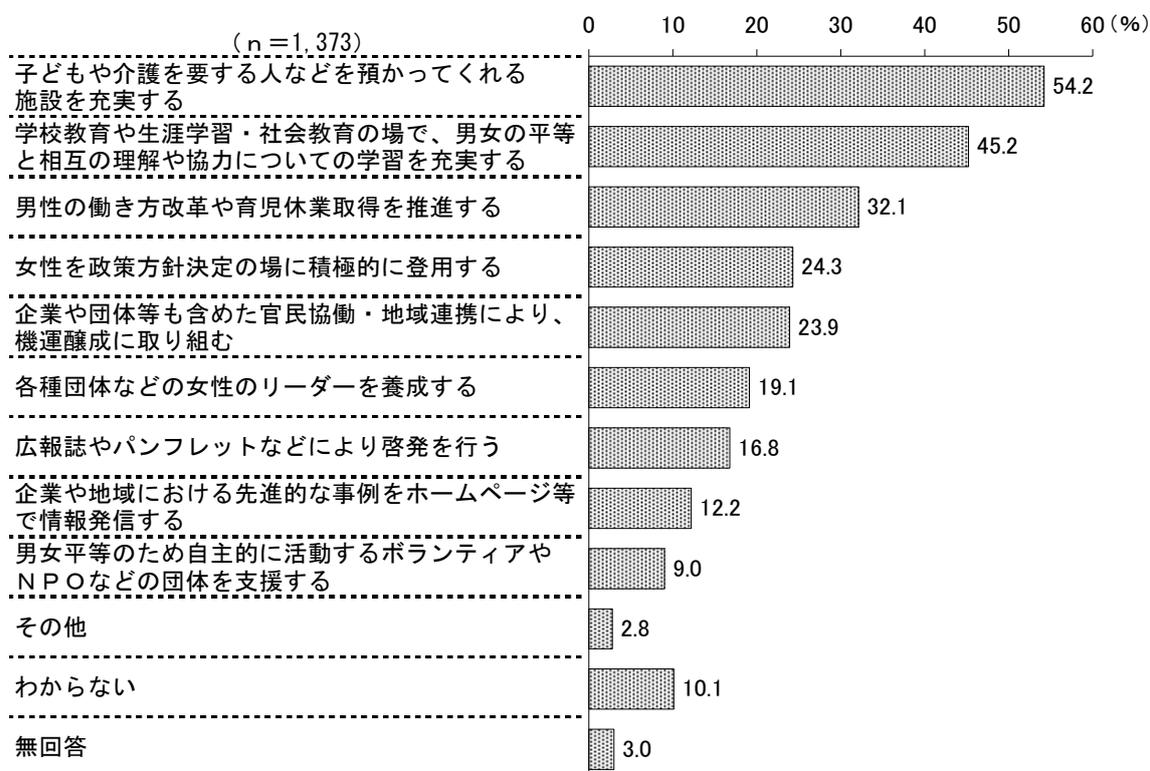
市町別で見ると、『男性優遇』では〈宇都宮市〉が66.0%、〈宇都宮市以外の市〉が65.0%となっており、〈町〉(60.3%)に比べて高くなっている。

(2) 男女平等な社会を推進していくための県の取組

問21 あなたは、今後さらに男女平等な社会を推進していくために、県はどのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,373]

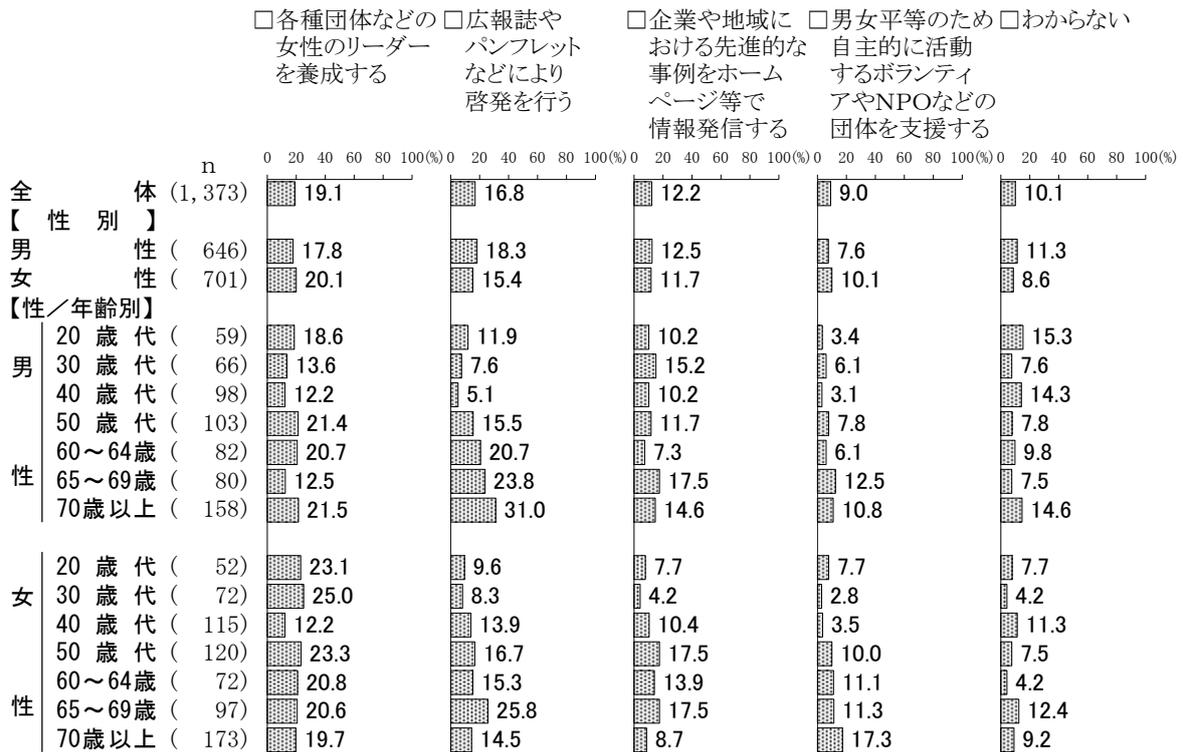
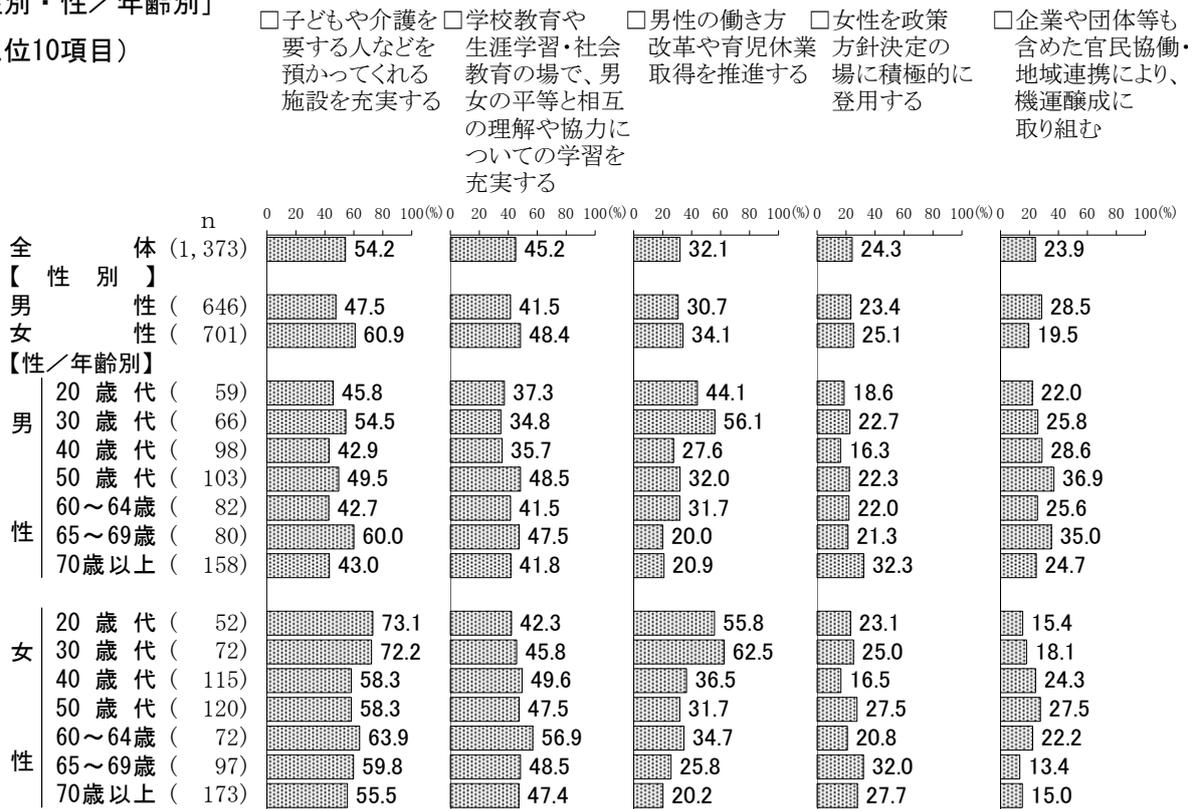
1	広報誌やパンフレットなどにより啓発を行う	16.8%
2	企業や地域における先進的な事例をホームページ等で情報発信する	12.2
3	学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	45.2
4	企業や団体等も含めた官民協働・地域連携により、機運醸成に取り組む	23.9
5	女性を政策方針決定の場に積極的に登用する	24.3
6	各種団体などの女性のリーダーを養成する	19.1
7	男女平等のため自主的に活動するボランティアやNPOなどの団体を支援する	9.0
8	男性の働き方改革や育児休業取得を推進する	32.1
9	子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する	54.2
10	その他	2.8
11	わからない	10.1
	(無回答)	3.0



全体でみると、「子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する」(54.2%)が5割半ばで最も高く、次いで「学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」(45.2%)、「男性の働き方改革や育児休業取得を推進する」(32.1%)、「女性を政策方針決定の場に積極的に登用する」(24.3%)、「企業や団体等も含めた官民協働・地域連携により、機運醸成に取り組む」(23.9%)の順となっている。

[性別・性／年齢別]

(上位10項目)



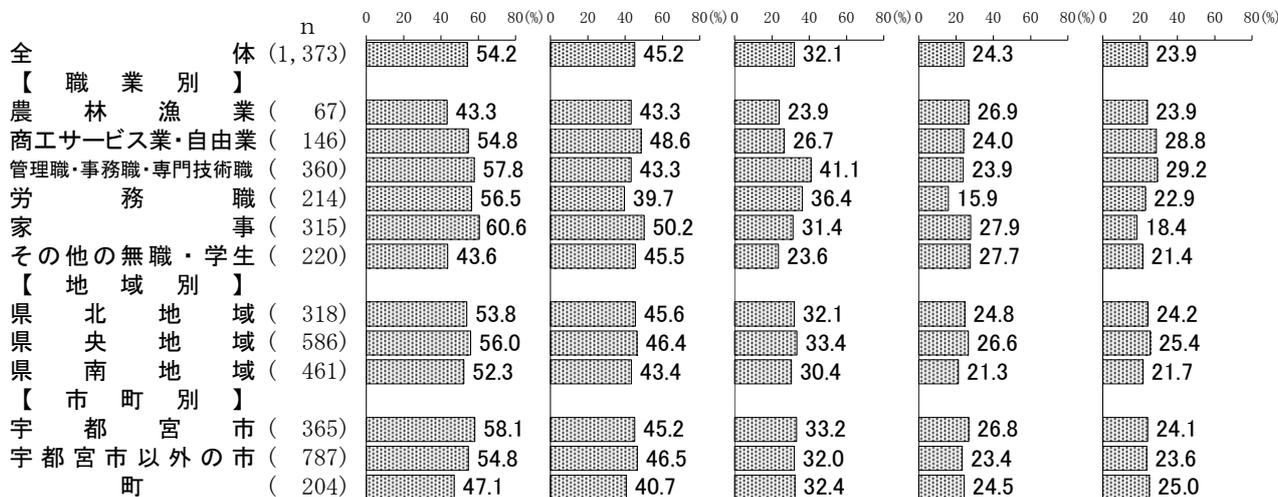
性別でみると、「子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する」では〈女性〉(60.9%)が〈男性〉(47.5%)より13.4ポイント高くなっている。「企業や団体等も含めた官民協働・地域連携により、機運醸成に取り組む」では〈男性〉(28.5%)が〈女性〉(19.5%)より9.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する」では〈女性20歳代〉が73.1%、〈女性30歳代〉が72.2%と高くなっている。「男性の働き方改革や育児休業取得を推進する」では〈女性30歳代〉が62.5%、〈男性30歳代〉が56.1%、〈女性20歳代〉が55.8%と高くなっている。

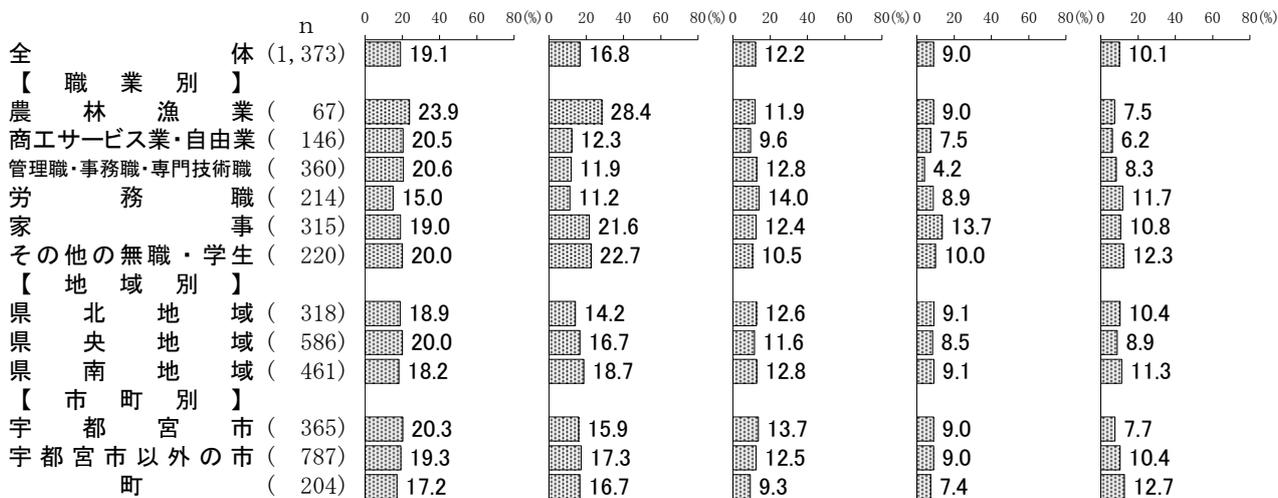
[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)

- 子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する
- 学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
- 男性の働き方改革や育児休業取得を推進する
- 女性を政策方針決定の場に積極的に登用する
- 企業や団体も含めた官民協働・地域連携により、機運醸成に取り組む



- 各種団体などの女性のリーダーを養成する
- 広報誌やパンフレットなどにより啓発を行う
- 企業や地域における先進的な事例をホームページ等で情報発信する
- 男女平等のために自主的に活動するボランティアやNPOなどの団体を支援する
- わからない



職業別で見ると、「子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する」では〈家事〉が60.6%と高くなっている。「学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」では〈家事〉が50.2%と高くなっている。「男性の働き方改革や育児休業取得を推進する」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が41.1%と高くなっている。「広報誌やパンフレットなどにより啓発を行う」では〈農林漁業〉が28.4%と高くなっている。

地域別で見ると、「女性を政策方針決定の場に積極的に登用する」では〈県央地域〉が26.6%と高くなっている。

市町別で見ると、「子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する」では〈宇都宮市〉が58.1%と高くなっている。